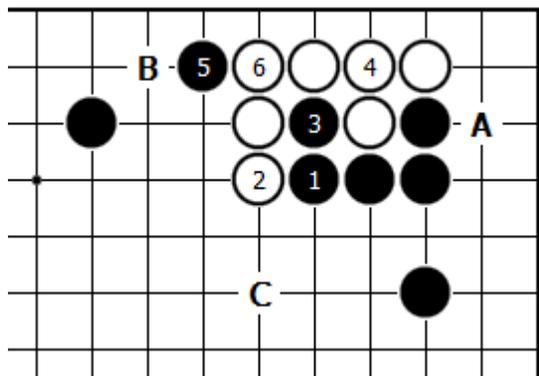


【問題】

黒4は、複雑な変化を避けた
簡明で厚い一手。

白5の後、黒の打ち方は？



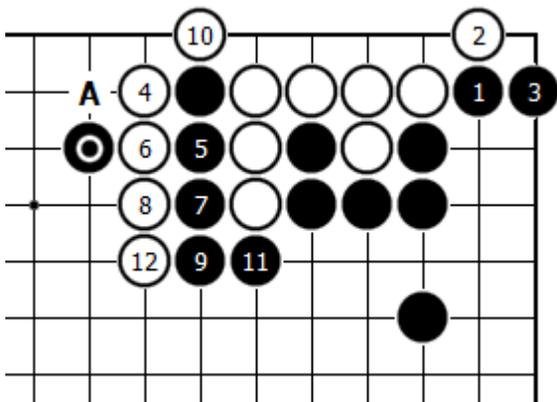
〔相場図〕

通常、黒1が逃せない急所。

後は白2以下6まで一段落。

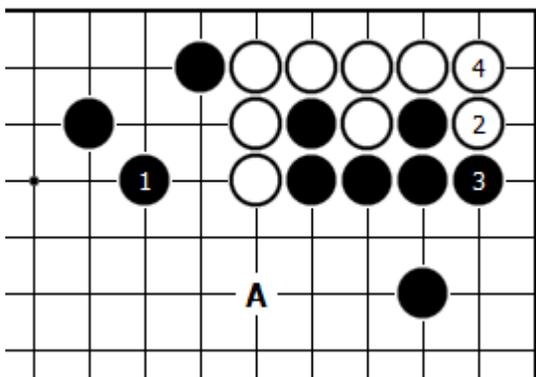
（白はA・Bが見合いで眼があり、
Cもあるので心配なし）

★動画解説: https://youtu.be/reICSv_libA



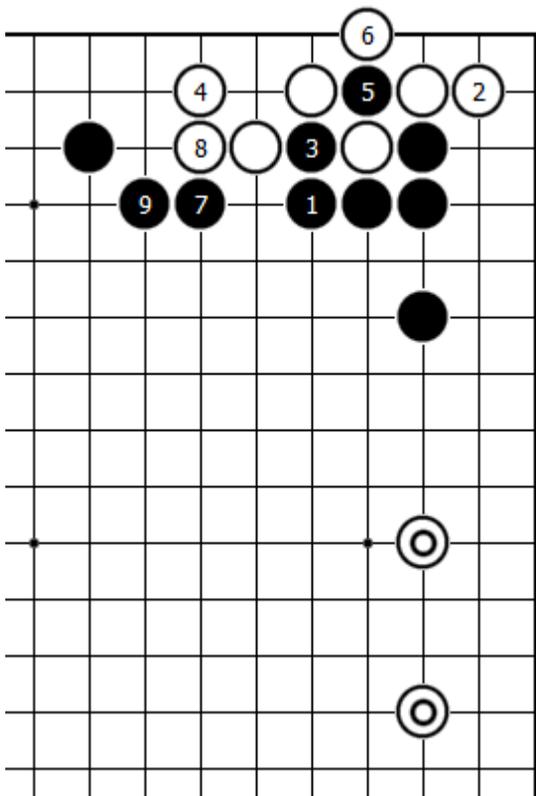
● 図1

黒1の場合。
白4の後は黒A・白5が相場。
黒5は無理で、12まで
黒◎が痛んで悪い。



● 図2

黒1の場合。
白は2・4で生きれば固いが、
まだAがあるので、
他に急場があれば
手抜きも可能。



● 図3 <白の別法>

すでに白◎がいて黒の厚みが
怖くない場合。
黒1に対し、白2と地を稼ぐ手も有力。
黒9まで黒は厚いが、
厚みがさほど働かない状態。
白が先手でうまく立ち回った例。